

平成30年5月15日（火）

照会先：保健福祉部 疾病対策課 健康危機管理対策室  
担当：技佐兼室長補佐（技術総括） 深谷 均

## 資料提供

### 麻疹（はしか）患者の発生について

5月14日、つくば市内の医療機関からつくば保健所へ麻疹患者の届出（臨床診断）があり、県衛生研究所で検査を実施したところ、麻疹陽性であることが判明しました。

現在、土浦保健所では、当該患者の感染経路及び接触者の調査を実施し、感染拡大の防止に努めています。

なお、当該患者は、感染したと考えられる期間に、沖縄県、愛知県の訪問歴や海外渡航歴はありません。

#### 1 患者の概要

年齢・性別：0歳 女児

住 所：稲敷郡

症 状：鼻汁，発熱，発疹，咳

麻疹予防接種歴：なし

#### 2 経過等

5月7日 鼻汁が出現

5月10日 39℃台の発熱が出現

5月11日 発熱が続くため阿見町内の医療機関（診療所）を受診

5月13日 発疹が出現

5月14日 発熱及び発疹症状のため、つくば市内の医療機関（診療所）を受診

診察した医師からつくば保健所へ麻疹の発生届出  
県衛生研究所で行った遺伝子検査で麻疹陽性と判明  
当該患者は、自宅療養中で快方に向かっています。

#### 県からのお願い

##### ○ 県民の皆様へ

1 麻疹は、有効な治療方法がなく、予防する唯一の手段はワクチン接種です。

麻疹の定期予防接種（第1期：1歳児，第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていないお子さんは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

また、麻疹を発症すると、多数の者に感染を引き起こしてしまう可能性が高い、医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員等で、麻疹に未罹患であり、かつ、麻疹の予防接種を2回接種していない方は、予防接種を受けましょう。

2 症状から麻疹が疑われる場合は、医療機関へ麻疹の疑いがある旨を事前に連絡のうえ、速やかに受診してください。受診の際は、周囲の方へ感染させないよう公共交通機関等の利用を避けてください。

また、麻疹にかかった（検査で診断された）ことがない方が海外渡航する時には、渡航先の流行状況を確認するとともに、麻疹の予防接種歴を確認し、2回接種していない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けることをおすすめします。

県からのお願い

○ 医療機関の皆様へ

発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんを意識した診療を行うとともに、臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所に届出をお願いします。

また、患者（疑い含む）は個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策の実施についても併せてお願いいたします。

○ 麻しん（はしか）とは

原因：麻しんウイルス

潜伏期間：約10～12日間

症状：感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。

治療：特異的な治療法はなく、対症療法

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は非常に強いと言われている。

感染症法：五類感染症、全数把握疾患（診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている）

予防方法：ワクチン接種

【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

【参考】

麻しん患者発生状況（H30.5.6まで）

単位：人

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全 国	439	283	229	462	35	165	189	124
茨城県	0	0	0	3	0	1	1	3

※H30には今回の事例を含まない。